

# Discovery

Winter 2018 vol. 15



株式会社日吉



info@hiyoshi-es.co.jp

www.hiyoshi-es.co.jp/



第7回EV・PHV・FCV写真コンテスト入選作品「ひわこを眺めて」

本社：〒523-8555 滋賀県近江八幡市北之庄町908 TEL(0748)32-5111(代) FAX(0748)32-3339 / 東京支店：〒107-0052 東京都港区赤坂9-1-7 TEL(03)5772-6073(代)

## 海外活動



### スピーチコンテスト開催。優勝者来日 2017.10.11~2017.10.25



2017年9月に第23回スピーチコンテストがチェンナイ（インド）のABK-AOTS同窓会タミールナドゥセンターにて開催されました。およそ120名の中からナンディニー（タミール語I）、デシカ（タミール語II）、アラビンド（英語）、プリヤ（日本語）の4名がそれぞれの部門で優勝。副賞として日本での環境・文化体験が贈呈されました。

優勝者4名は10月11日に来日。廃棄物、排水処理、分析などの環境学習、週末は社員と京都・滋賀の観光を通じた文化交流を楽しみました。8日間の滋賀県滞在を経て東京観光後、10日間の滞在を終えて帰国しました。

日吉ではコンテストの開催支援に続き、優勝者たちの日本滞在をサポートしています。日印のかけはしとなる彼らのこれからの活躍に期待しています。

※ABK（アジア学生文化協会）文部省所管・設立1957年 AOTS（海外技術者研修協会）通産省の要請を受けABKが1959年に設立

#### スピーチコンテスト

インドのABK-AOTS同窓会と日吉の共同企画として1995年に始めました。以来、日吉がスポンサーとしてABK-AOTSと協力し、環境に関するテーマのスピーチコンテストを毎年開催。インド国内でも注目度が高く、環境への想いを伝える機会になっています。



### 第10回日吉環境大賞実施 2017.9.16

2008年から毎年インドで実施している日吉環境大賞が今年で10周年を迎えました。環境保全/保護をテーマに優れた研究を行った研究者や技術者を表彰しています。授賞式では在チェンナイ日本国総領事から受賞者に賞状と記念品が手渡されました。受賞者のますますの活躍に期待しています。

環境大賞：Dr. Arthanareeswaran Gangasalam, National Institute of Technology Tiruchirapalli

Think of Ecology賞：Dr. Senthil Kumar Ponnusamy, SSN College of Engineering

若葉賞：Dr. Sankar Chakma, Indian Institute of Science Education and Research Bhopal

#### 英語優勝者



アラビンド

初めての日本を満喫しました。なかでも、日本文化の素晴らしさと日本人の礼儀正しさが強く印象に残っています。日吉の皆さんの手厚いサポートに感謝しています。

#### 日本語優勝者



プリヤ

日吉の高度な技術や分析施設、ビジネスを理解できたことはもちろん、京都、滋賀の観光、東京ではディズニーなど、初めての日本を満喫することができました。

#### タミール語優勝者



ナンディニー

日本の家や自転車など見たものすべてが新鮮でした。私たちとは全然違う性格の人々と接し、人生の見方が変わりました。日吉の皆さん、ありがとうございます。また会いたいです。

### 平成29年度海外技術研修員受け入れ 2017.9.1~2017.12.8

中国湖南省環境監測中心站で金属の分析を担当する朱瑞瑞（しゅずいずい）さんが平成29年度の滋賀県海外技術研修員として日吉を訪れました。およそ3カ月にわたり、土壌中の金属分析手法を中心に前処理方法から土壌修復技術まで、仕事に応用できる技術を学んでいただくとともに、日中双方の分析技術や知識についての情報交換も行いました。

#### 滋賀県と中国湖南省との架け橋になる中国人研修生の受け入れ事業

海外技術研修員の受け入れは滋賀県と中国湖南省との友好関係をもとにした提携事業として昭和58年から行われています。技術習得や県民との交流を通じて、省の発展と両県の友好関係増進に寄与する人材を育てることを目的としています。



- |  |   |   |   |
|--|---|---|---|
| <b>国内</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>龍谷大学</li> <li>長浜バイオ大学</li> <li>八幡中学校</li> </ul> | <b>海外</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>大阪府立大学（さくらサイエンスプラン）（ベトナム）</li> <li>JICA湖南省洞庭湖流域農村水環境改善プロジェクト（中国）</li> <li>JSTさくらサイエンスプラン（ミャンマー）</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>ベトナム・クワンニン省</li> <li>日越大学（ベトナム）</li> <li>清華大学（中国）</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>マラヤ大学（マレーシア）</li> <li>JICA研修生（ILEC）</li> </ul> |
|--|---|---|---|

# 学会発表・講演



## 国立環境研究所との連携拠点設置記念シンポジウムに登壇 2017.10.18

2017年4月、国立環境研究所琵琶湖分室の県内設置を記念し、長浜バイオ大学にてシンポジウムが開催されました。持続可能な開発目標（SDGs\*）の実現に向け、行政や研究機関、企業、市民が共有すべき課題をテーマに「琵琶湖新時代」に向けた第一歩を歩みだす機会として、環境省の森本英香事務次官や三日月大造滋賀県知事が臨席するなか、パネリストとして登壇、日吉の取組みを紹介しました

※SDGs「Sustainable Development Goals（持続可能な開発目標）」の略称



## ダイバーシティ経営シンポジウムで講演・滋賀県知事表敬訪問 2017.8.3

近畿経済産業局シンポジウムにて、「新・ダイバーシティ経営企業100選」に滋賀県で初めて受賞した企業として、総務部課長大角浩子が講演を行いました。また9月26日にはその取り組みの報告を兼ね、三日月滋賀県知事を表敬訪問しました。

## 平成29年度全国給水衛生検査協会研修会で事例発表 2017.9.15

技術部分析研究課食品衛生係の井上莉沙が「近年出荷量が增大している農業等の水道水および水道水源等の実態調査」の事例発表を行いました。

■平成29年度一般社団法人全国給水衛生検査協会近畿支部研修会

演題 近年出荷量が增大している農業等の水道水および水道水源等の実態調査

演者名 井上 莉沙（技術部）

会場 チサンホテル（神戸市）



## 滋賀県立大学「地域産業・企業から学ぶ社長講義」に登壇 2017.7.10

村田社長が2年続けての登壇。環境産業、法整備と事業成長、学生に求めるグローバル視点と行動など、盛り沢山な内容で講義を行いました。



## インドの経済事情・社会事情について講演 2017.7.7

当社の海外事業企画室 黄室長が、PBL\*プログラムに所属する学生約20名を対象に「インドの経済事情・社会事情」の講演を行いました。

※PBL：Project Based Learning（産学国際協働）プログラムは立命館大学が文部科学省の助成金事業として2014年より請負っている。



# 社会貢献



## 「環境少年団2017 in 琵琶湖博物館」で環境学習を開催 2017.8.5



「子どもたちに身近な環境問題を理解してもらい、いま出来ることをやってもらう」ことを目的とした環境学習を開催。今年度は「水の浄化」をテーマに、水の循環に関する説明を行った後、コーラや牛乳などの身近なものに比較的安全な凝集剤を入れる水の浄化実験を体験してもらいました。「コップの中で水がキレイになっていく様子が面白かった」などの感想を頂きました。

## 小学校 先生方のゴミ収集体験 2017.8.1/2017.8.3

平成2年以来恒例となっている小学校教諭によるごみ収集体験を実施。今年は八幡小学校と桐原小学校から、環境学習の対象学年である4年生の担任、7名が挑戦しました。

- 奥びわスポーツの森「花とみどりのつどい2017」
- 立命館大学Sustainable Week支援
- 第48回ほっとクリーン作戦
- もりやま環境フェア
- 秋の交通安全運動で街頭啓発

## 展示会 びわ湖環境ビジネスメッセ 2017.10.18~2017.10.20 メッセ名古屋2017 2017.11.8~2017.11.11

開催20周年という節目を迎えたびわ湖環境ビジネスメッセ。弊社ブースに多数の方々のご来臨がありました。メッセ名古屋もおかげさまで大盛況となりました。ご来場いただきました皆様に、この場を借りてお礼申し上げます。



## 表彰 滋賀県低炭素社会づくり賞「低炭素化事業部門」で表彰 2017.10.18

温室効果ガス排出削減に貢献する製品・サービスに取り組む県内事業者を表彰するもので、日吉他3社が選ばれました。日吉の提供するダイオキシン類簡易測定法「ケイラックス®アッセイ」が従来法に比べエネルギー使用量が7分の1であり、「二酸化炭素排出が少ないダイオキシン類分析の実施」として評価されました。



## 日吉社員が技能競技大会（技能検定）にて表彰 2017.11.28

日吉社員3名が平成29年度前期技能競技大会（技能検定・化学分析）において成績優秀者として表彰を受けました。



知事成績優秀者証  
技術部 川村 智子  
滋賀県職業能力開発協会会長表彰  
技術部 井上 莉沙、西川 耀人



- 用紙：琵琶湖の環境保全活動を支援する寄付金付びわ湖環境ペーパー 適切に管理された森林の木材を利用したFSC®認証用紙
- インキ：大豆油インキを含む植物油インキ
- 印刷：有害な廃液を排出しない水なし印刷
- 製造、廃棄に発生するCO2を滋賀県内の排出削減事業者のクレジットによりカーボンオフセット済
- CO2排出量：169.874kg/3,000部